

**日本農業労災学会**  
**2021年度（第8回）大会シンポジウムの開催概要（案）**

1. 開催日時：2021年10月22日（金）13:00～16:20（個別研究報告を除く）
2. 会場：オンライン開催（Zoomによる）
3. 主催団体：日本農業労災学会・東京農業大学総研研究会3研究部会  
（労災対策研究部会・就農者推進教育研究部会・農業協同組合研究部会）
4. 後援団体：JA全国組織、JA単協等
5. シンポジウムのテーマ  
『農作業事故防止のために産官学と農協・社労士グループとの連携をどう進めるかー農作業安全対策の新たな展開方向を踏まえてー』
6. 開催趣旨・ねらい

今日、農作業安全や事故防止が緊急の課題として様々な対策が実施されているが、農作業による死亡や負傷事故件数が着実に減少していない。こうした中で農林水産省では農業機械作業に係わる死亡事故を3年後に平成29年度比半減という明確な目標を立て、それに向けて具体的な取り組みを加速化しつつある。加えて、同省では農林水産業・食品産業の作業安全のための規範（共通規範）の策定を通じて、農林水産業・食品産業の働き方改革というより広い枠組みで作業安全に取り組む重要性を提起している。

一方で厚生労働省では複数就業すなわち、兼業や副業に対する作業安全や労災保険制度の改正が行われ、多様な働き方、ダイバーシティを踏まえた安全対策の推進が求められている。農業現場でも女性就業者や外国人労働者、農福連携などが重要な役割を果たすようになり、多様な農業就業形態を前提とした農作業安全対策をどうするかも喫緊の課題となっている。

このような課題に直面する中でより包括的かつ効果的な農作業事故防止・安全対策を進めるためには、農林水産業や食品産業の働き方改革の方向性を踏まえ、一層の産官学の組織的な連携、情報の共有が不可欠であると考えられる。本シンポジウムでは、産官学連携のもとに進められている農作業事故防止・安全に対する対策・取り組みについて、政策面や技術面から最新の現状や問題点を把握すると共に、ダイバーシティの視点から外国人労働者の安全対策についても検討を深めていきたいと考える。そのため、関係省庁による新たな対策や制度改正についての基調報告をベースに、産官学が取り組んでいる最新の農作業安全対策について、現地からの報告も踏まえ、「農作業事故防止のための産官学と農協・社労士グループとの連携をどう進めるか」について共通認識の醸成に努め、今後の展開方向を明らかにすることが本シンポジウムの開催趣旨である。

## 7. プログラム

- 1) 開会 13:00
- 2) 開会挨拶 13:00～13:10  
日本農業労災学会会長 北田紀久雄  
東京農業大学学長 江口文陽

- 3) 座長解題 13:10～13:20  
半杭 真一（東京農業大学准教授）、宮永 均（JA はだの組合長理事）
- 4) 基調報告（6名、各15分+切替時間2分=17分）
- 第1報告 13:20～13:37  
農作業事故防止安全対策の現段階と今後の展望・・・田島 淳（東京農業大学教授）
- 第2報告 13:37～13:54  
安全性検査の充実と受検率の向上における連携のあり方・・・藤井 幸人（農研機構  
農業機械研究部門 安全検査部長）
- 第3報告 13:54～14:11  
JAグループの農作業安全とGAPの取り組み・・・高橋 昭博（全国農協中央会営農・  
くらし支援部 営農担い手支援課考査役）
- 第4報告 14:11～14:28  
北海道における農作業事故防止の取り組みについて・・・瀬野 俊彦（北海道農作業  
安全運動推進本部 事務局長）
- <休憩> 14:28～14:40
- 第5報告 14:40～14:57  
外国人技能実習生等の農家受け入れ実態と監理団体の役割—健康管理、農作業安全  
衛生管理との関連で—・・・成井 貞行（茨城県 JAグループ監理団体「協同組合エ  
コ・リード」）
- 第6報告 14:57～15:14  
兼業・副業に係わる農作業安全対策と農業労災制度の役割・・・中村 仁（社会保険  
労務士・山梨県）
- 5) コメント（3名、各5分+切替時間1分） 15:14～15:32  
コメンテーター
- ①本田 雅弘（石川県・農家）  
②由良 竜一（神奈川県農業協同組合中央会 営農企画部長）  
③及川 次夫（Thailand）
- 6) 全体討論（35分） 15:32～16:07
- 7) 座長総括 16:07～16:15
- 8) 閉会挨拶 学会副会長 堀内政徳 16:15～16:20
- 9) 閉会 16:20

※個別研究報告の希望がある場合には、座長総括後に5分休憩し、16:20開始、16:45終了  
（報告15分、質疑応答10分）とし、その後に閉会挨拶（16:45～16:50）、閉会（16:50）  
とする。

以上